

若手演奏家を応援する会

大興商事株式会社

岩本 眞吾

今回、「若手演奏家を応援する会」をご紹介したいと思いペンをとりました。

この会は代表である田部井行夫さんが、将来を担う若手のクラシック演奏家、特に弦楽器とピアノ奏者のための演奏会を開催することを目的として個人で立ち上げたものです。小さなライブハウスなどではよくある企画ですが、最大の特徴は素晴らしいホールで勉強の機会を提供する、という趣旨だそうです。

きっかけは、50才を過ぎて習いたかったピアノ教室に通ったことだそうです。そこの先生が凄く丁寧に教えてくれたので、ヴァイオリンとフルートも同時に習い始め、つまり3か月毎日3科目を1時間ずつ！練習時間を各々1時間として都合1日6時間練習されたとか！！

しかし残念ながら上達は望めず。代わりに演奏会に足を運ぶようになり、こんな素晴らしい生の演奏を実家(群馬)のご近所の方々にも体験して欲しい、と小学校やお寺で演奏会を主催し始めたとか。そうこうするうちに東京でも開くようになったそうです。

会場は墨田区錦糸町駅そばにある「すみだトリフォニーホール 小ホール」が主で、客席数252の響きの良い、そして広々としたホワイエ(ロビー)と階段を備えております。器楽曲や室内楽を演奏するには都内でも指折りの会場です。また上野にある「東京文化会館小ホール」も利用されます。

演奏するのは主に都内にある音楽大学の学生さん達。中にはすでにプロとしての活動をされている方もいらっしゃいますし、高校生も頑張っています。

笑顔で余裕の方がいる一方、初めてのリサイタルに少々緊張気味の方も見て取れますが、皆さん一様に良いホールで演奏できる喜びに満ちています。

終演後にはその日の演奏を収録し、後程郵送でお届けするCD販売とサイン会があります。演奏中の真剣な眼差しとは対照的に、終演後のほっとした表情はがらりと変わって可愛らしいものです。演奏者と初対面の方が気軽に語らえるのもこのイベントの特徴の一つです。

今年は6月までの前半で20回以上、7月以降は今のところ14回を東京で開催予定だそうです。田部井さんはこの他にも札幌や関西方面でも同様の活動をされています。

お客様は出演者のファン、親族、友人、先生はもとより、常連さんたちが中心です。そんなアットホームな雰囲気の会場は、客席が一体となって演奏者を応援しているかのような気がします。

今年で11年目となるこの活動も、初めの頃は田部井さん



若手演奏家 黒沼香恋さんの練習風景

がご自分で聴いて感動した学生さんに大学宛てで出演依頼の手紙を書き開催の運びとなったとか。そんな田部井さんには尊敬の念を禁じ得ません。

思えば私が田部井さんを知ったのも9年ほど前の演奏会。その後、石上真由子さんという当時関西の医学部2年生で、ヴァイオリン・コンテスト荒らしの異名を持つ方の東京デビューコンサートのチケットを1番乗りで予約していたので目を付けられたようです。その演奏会はなんと東京芸大正門からわずか200メートルほどの距離にある旧奏楽堂で行われ、まるで道場荒らしのようでした。彼女がストレートで医学部を卒業されて2年目なので、6年前の事でしょうか。それ以降コンサート会場で出会ったり、田部井さん主催の演奏会において裏方を手伝ったりしています。

田部井さんにこの企画を立ち上げて良かったことは？と伺いました。お客さんが大勢いらしてくれても、170人来てくださって、そのうち150人が招待(つまり無料)だったこともありました。出演者は玉石混合で人材発掘というわけでもありませんし、

まあ筆者が思うに、奏者が喜び感謝してくれて、お客さんも楽しんで、常連さんたちと音楽談議に花が咲いてと、そんな身近に感じられる演奏会を提供できたこと。こんな感じでしょうかねえ。

最後に今後のスケジュールをご紹介しますと下記の通りです。皆さん是非一度いらしてみてください。

会場は総て「すみだトリフォニーホール 小ホール」

開場 18時30分

開演 19時00分

料金 一般3,500円、学生2,000円

- 10月2日 大塚百合菜(紀尾井ホール室内管弦楽団) ヴァイオリン
- 11月26日 澤亜樹(芸大フィル コンサートミストレス) ヴァイオリン
- 12月17日 高松亜衣 ヴァイオリン
- 12月18日 赤間美沙子 ヴァイオリン
- 12月19日 東亮汰 ヴァイオリン
- 12月23日 横井舞葉 ピアノ

詳細は若手演奏家を応援する会のブログ
をご覧ください。



若手演奏家を応援する会 創立11周年記念公演 チラシ